

関西から「戦争法案あかん」

若者大集合 大阪に2万人



「戦争法案に反対する関西大行動」に結集した青年たち＝13日、大阪市西区

安倍自公政権が戦争法案の強行採決・成立を狙う中、「関西から大規模に『反対』の声を上げよう」と13日、関西の青年11グループが大阪・御堂筋をデモ行進しました。出発時点（午後5時）で約2万人が参加しました。主催は、近畿2府4県で戦争法案反対の活動をしている青年・学生・高校生・障害者の有志11グループ

とで、「二つにまともって声を上げることで、より大きな社会的効果を与えよう」と結集しました。制服姿の高校生や、子どもの手を引いた若いパパ・ママらが、音響機材を積み、コールの先導役を乗せたサウンドカーを先頭に、「戦争法案絶対廃案」「戦争したがる総理はいらない」と声を上げました。



「戦争法案絶対廃案」とコールする関西一円から集まった青年たち＝13日、大阪市



広島 7000 人の人文字

宮崎 若い世代が集う



全国に呼応 響く声

広島市の中央公園で13日、戦争法案の廃案を求めて集まった市民約7000人が「NO WAR NO ABE」の人文字をつくりました。同実行委員会の主催。「戦争NO!」などの紙をいっせいに頭上に掲げ、「強行採決させないぞ」「私たちの手で止めるぞ」と唱和しました（写真上）。九州各県では13日、戦争法案に反対する若い世代の行動が取り组まれました。宮崎市の市街地には、若い世代を中心に約40人が集まり「全国に連帯して立ち上がろう!」と声を上げました。2歳と5歳の子どもを連れて参加した久保田早紀さん（35）は、「他人事ではないから、私も当事者だから、この法案に反対し続けます」と語りました（写真左）